



Semiotics of the cocoon

Ethics, Art, Technology and Philosophy

45th Conference of Japanese Association for Semiotic Studies



日本記号学会 第45回大会

繭の記号論 — 技術をめぐる倫理・芸術・哲学

2025年7月5日(土) — 6日(日)

情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]



大会特設サイト

企画セッション

7/5 15:00-17:30

問題提起「繭の記号論」 大会実行委員長

繭のエティカ:テクノロジーとケア、ヒューマニズム

金山智子 [メディアコミュニケーション論] (IAMAS)、久木田水生 [技術哲学] (名古屋大学)、秋庭史典 [情報学・美学] (名古屋大学)

7/6 13:40-16:00

繭のアルス: 先端技術とメディアアートの行方

石橋友也 [芸術実践] (IAMAS)、小林 茂 [技術論] (IAMAS)、原島大輔 [基礎情報学・表象文化論] (立教大学)、植田憲司 [情報文化論・メディア考古学] (京都経済短期大学)

7/6 16:10-17:30

繭のソフィア: 混合、共感、転生の哲学

吉岡洋 [哲学] (京都芸術大学)、大久保美紀 [美学・芸術学] (IAMAS)

研究発表 分科会 学会員および非学会員による研究発表

※発表内容は大会テーマに関連したものに限りません

展示 「繭の記号論: 技術をめぐる倫理・芸術・哲学」

開廊時間: 学会期間中 企画セッション開催時間をのぞく

www.jassweb.jp/45taikai



日本記号学会第45回大会

開催のご案内

繭の記号論

— 技術をめぐる倫理・芸術・哲学 —

2025年7月5日(土) — 6日(日)

情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]

〒503-0006 岐阜県大垣市加賀野4丁目1-7

日本記号学会第45回大会では「繭の記号論」と題して、「技術」をめぐる問いを「倫理」「芸術」「哲学」という三つの観点から議論します。企画セッションや研究発表（分科会）、そしてIAMAS内のギャラリーにて大会テーマに関連するアート作品の展示を行います。「技術」をテクノロジーの側面からだけでなく、テクネーや芸術を含むアート、また西洋近代技術の枠組みでは捉えきれない多面的なものとして再認識する契機となれば幸いです。

展示 「繭の記号論：技術をめぐる倫理・芸術・哲学」

展示会場 情報科学芸術大学院大学 ソフトピアセンタービル 3F・4F

入場無料 ※学会に参加する場合は要学会参加費

参加作家：石橋友也、上松大輝 + 水島久光 + 椋本輔、杉浦今日子、
瀧健太郎、西脇直毅、林晃世、平瀬ミキ、福島あつし、藤幡正樹、
宮沢らも、Jean-Louis BOISSIER、florian gadenne + miki okubo、
Yukichi INOUE、IAMAS 学生・卒業生有志

(予定)

展示コアタイム

7月5日 10:00-15:00、17:30-20:00

7月6日 9:30-13:40、18:00-19:00

※企画セッション開催時間をのぞく

詳しい開催時間は
特設サイトから >

関連イベント 平塚弥生による「共食ワークショップ」7月5日 17:30-18:00（非学会員の方は学会参加費等が必要です）

主催：日本記号学会

企画：大久保美紀（日本記号学会第45回大会 実行委員長）

助成：公益財団法人吉野石膏美術振興財団、公益財団法人ポーラ美術振興財団

協力：情報科学芸術大学院大学、art-sensibilisation、IAMAS プロジェクト「テクノロジーの〈解釈学〉」

情報科学芸術大学院大学
Institute of Advanced Media Arts and Sciences公益財団法人
ポーラ美術振興財団
POLA ART FOUNDATION